

令和5年度事業報告書及び事業報告の附属明細書について

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び、緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として、次のとおり各事業に取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、小網代の森でのアカテガニ放仔観察会や県内各地での自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発や会員募集に取り組んだ。また、「かながわ緑の大使」による募金活動及び若い世代に向けてSNS等によるPRを図った。
- 地域緑化活動事業では、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の募集と育成に努めた。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、保存契約緑地等のナラ枯れ被害木の対応やトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクールや森林保全活動等を実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

(ア) パネル展

開催日	場所	主な内容
令和5年7月7日(金) ～17日(月・祝)、11月22 日(水)～12月3日(日)	藤沢市長久保公園	かながわのナショナル・トラスト運動パネル展
令和5年8月4日(金) ～6日(日)	京急百貨店	小網代の森動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展等
令和6年2月8日(木) ～12日(月・祝)	アミューあつぎ	第23回さがみ自然フォーラム・パネル展

(イ) 講演会

題名 雑草という名の草はない！植物一筋牧野富太郎をもっと知る！

開催日 令和5年11月25日(土)

場 所 神奈川県不動産会館

講 師 公益財団法人高知県牧野記念財団専門員 藤井 聖子 氏

参加者 172人

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
129(夏)	5年 6月	9,500部	小網代の森の保全、ナラ枯れ対策、木質資源活用など
130(秋)	5年 9月	9,500部	牧野富太郎と横浜植物会、竹工芸(前編)財団事業報告など
131(冬)	5年 12月	9,500部	竹工芸(後編)、神奈川県植物相調査守ってほしいこんな緑地(前編)など
132(春)	6年 3月	9,500部	成長の森、守ってほしいこんな緑地(後編)、令和6年度イベントなど

ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

期 間 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

場 所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内 容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体や企業等に配布した。

(ア) 入会申込書付きリーフレット	38,000部
(イ) 小網代の森リーフレット	5,000部
(ウ) イベント&森林ボランティア情報誌	1,500部
(エ) 折込チラシ「よこはまビジネスPR便」	24,000部

オ WEBサイト等の充実

- ・ホームページアクセス件数15,398件/月(目標15,000件/月)

情報発信及び整備

公式WEBサイトやSNS(facebook、Twitter等)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトの整備に取り組んだ。

カ 自然観察会等の開催

- (ア) 歴史見学(公益財団法人鎌倉風致保存会との共催)

開催日 令和5年5月24日(水)ほか1回

場 所 浄妙寺ほか

参加者 24人

内 容 歴史解説、建造物の見学

- (イ) 自然観察会等

開催日 令和5年4月12日(水)ほか18回

場 所 大和市久田緑地ほか

参加者 464人

内 容 街路樹、植物、野鳥などの観察

- (ウ) トラスト緑地周遊クルーズ
開催日 令和5年6月16日(金) 午前、午後各1回
場 所 小網代湾ほか
参加者 25人
内 容 三浦半島の地質、植生などを観察しながらのクルージング
- キ 小網代の森観察会の開催
(ア) ホタルの夕べ2023
開催日 令和5年5月26日(金) ほか1回
場 所 引橋入口からえのきテラス
参加者 55人
(イ) アカテガニ放仔観察会
開催日 令和5年8月2日(水) ほか1回
場 所 アカテガニ広場から海岸線
参加者 54人
- ク 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託等
(ア) 関係団体との共催等
a 共催 公益財団法人鎌倉風致保存会
b 後援 藤沢市みどりいっぱい市民の会、箱根生物研究会、NPO法人あしがらアートの森、三浦市、公益財団法人神奈川県公園協会、さがみ自然フォーラム
(イ) 委託事業の実施
NPO法人小網代野外活動調整会議とNPO法人かながわ森林インストラクターの会に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。
- (ウ) 財団PRの講演活動
横浜MM地区のロータリークラブの卓話において、法人会員の募集と講演を行った。
開催日 令和6年2月19日(月)
場 所 ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル3階「ベイビュー」
参加者 33人(MM21ロータリークラブメンバー)
- ケ かながわ緑の大使の活動
中学生の3人が、財団主催のかながわ緑の大使として竹林整備、県民参加の森林づくり、自然観察会等に参加し、募金活動等を行った。
参加活動数 12回
- コ 顧客管理システムの管理
会員及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティーの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。
- サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用
財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録(4人)した。
登録人数 66人 活用回数 20回(自然観察会ほか)
- シ 会員募集推進員
サポーターを対象にトラスト運動及び会員募集推進員の説明会を行い、会員募集を担う推進員を追加登録(5人)した。
(ア) 登録人数 9人
(イ) 説明会「ナショナル・トラスト運動をもっと進めよう！」
開催日 令和6年3月11日(月)
場 所 神奈川県横浜西合同庁舎6A会議室
参加者 14人

ス 会員数

- ・新規会員421人（目標500人）、トラスト緑地保全支援会員101人（目標120人）

会員種別		令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通 会 員	個人会員	3,564人 〔459人〕	3,467人 〔465人〕	3,339人 〔462人〕
	家族会員	5,766人 〔681人〕	5,593人 〔684人〕	5,470人 〔689人〕
	団体会員	277人 〔33人〕	327人 〔47人〕	354人 〔47人〕
特別会員		307人	306人	305人
名誉会員		5人	5人	5人
会員数		9,919人 〔1,173人〕	9,698人 〔1,196人〕	9,473人 〔1,198人〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数)		(8,432人) (87.8%)	(8,270人) (88.1%)	(7,983人) (87.1%)

※〔 〕は内、トラスト緑地保全支援会員数

※会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されています。

(2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸地下駐車場やかながわ労働プラザなど6箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、団体の緑化活動の支援を行った。

(1) みどりの実践団体の育成

ア 参加団体数

- ・財団事業に参加した団体数222団体（目標220団体）

イ 支援制度

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

初年度奨励金 1団体

地域緑化活動事業助成金 39団体

ウ みどりの実践団体の募集

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体等に団体への登録についてホームページ、新聞折り込み広告等により周知し登録促進に努めた。

エ みどりの実践団体研修会

題 名 エンジン機器の基礎～地域緑化活動の現場で役立つ技術と知識

日 時 令和5年11月14日（火）13:30～16:30ほか1回

場 所 神奈川県不動産会館（横浜会場）

泉の森自然観察センター・しらかしのいえ（大和会場）

参加者 15団体（37人）

オ みどりの実践団体間の交流

団体の活動を推進するよう各団体の活動状況や課題等を紙面にまとめ、実践団体に送付し団体間の交流に努めた。

(2) 地域活動の支援

県内の魅力あるみどりのスポットとして、かながわのみどりや森林におけるパワースポット10箇所、癒やしスポット26箇所をホームページ等を通じて周知に努めた。また、癒やしスポット3箇所で開催した。

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全及び小網代の森保全利活用対策協議会を開催した。

(1) 緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、新たに葛葉及び久田緑地において計515㎡（目標500㎡）の保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	153,459.20	66,965.84	57,697.84	86.2	10	2,989,843
久田緑地 (大和市)	98,840.00	78,140.00	75,678.00	96.8	10	5,434,910
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	34,039.46	22,108.38	64.9	10	3,072,296
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	27,128.95	10,329.95	38.1	10	247,918
小網代の森 緑地(三浦 市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	977,190.21	310,281.25	269,821.17	87.0	—	11,778,498

(2) 保存契約緑地等の維持管理

保存契約緑地の巡視及び葛葉緑地（秦野市）、久田緑地（大和市）の草刈りやナラ枯れの被害木の伐採等の適正な管理に努めたほか、管理上廃棄される木竹材を活用したナラ枯れ薪などの寄附事業を試験的に実施した。

薪等提供量 11m³（寄附件数 10件）

(3) 緑地保全コーディネート

ア 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について書面により開催した。

イ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地において、自主的に保全活動にあたる4団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。

・小網代の森緑地（NPO法人小網代野外活動調整会議）

大規模な湿地環境再生事業、外来植物除去作業の実施及びアカテガニ放仔観察会の支援に取り組んだ。

- ・久田緑地（久田緑地くらぶ）
竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど、里山の維持管理活動に取り組んだ。
 - ・桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）
水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。
 - ・葛葉緑地（くずはの家ボランティアの会）
緑地内の清掃、外来種駆除及びヤマビル対策等に取り組んだ。
- ウ 蟹田（ガンダ）沢の保全
京浜急行電鉄株が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援ならびに企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣や用具の貸出し等により、県民参加による豊かな森林づくりの推進を目指した。

- ・ボランティア参加者数 10,529人（目標10,500人）

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

回数 17回
活動内容 植栽、間伐、除伐、竹林整備
参加者 972人

イ 団体の活動発表会

回数 2回
参加者 100人（アを含む）

ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

学校数 14校
活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験
参加者 1,020人

エ 団体等への指導者の派遣

回数 81回（47団体）
活動内容 自然観察、間伐、植樹、枝打、林内整備等
参加者 6,617人

オ 団体等への用具の貸し出し

回数 104回
活動内容 森林作業体験等
参加者 4,122人（ウとエ2,202人を含む）

(2) 森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動の円滑な推進を図るため、森林インストラクターの育成を行い森林インストラクター派遣の調整を委託した。

ア 森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 112回

派遣人数 711人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質向上を図るため、救急救命法等に関する研修を実施した。

回数 3回

参加者 55人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第18期神奈川県森林インストラクター養成講座（一年次）を開講した。

講座日数 13日

期間 令和5年5月～令和6年3月

参加者 29人

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数 20,000部 配布先 既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行った。

配置場所 やどりき水源林

配置人員 延べ192人（79日）

ウ 成長の森の造成

子の誕生記念や成長祝いとして県民から神奈川県産無花粉スギ・ヒノキの苗木の寄付を受け、県と当財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行い、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 118家族 166人

成長の森植樹会

開催日 令和6年3月9日(土)

場所 県立21世紀の森

参加者 188人

エ 街頭キャンペーン

県民の参加と協働を一層高め、水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さなどについて普及啓発活動を行った。

開催日 令和5年11月3日(金)～5日(日)

場所 川崎市川崎区富士見公園

参加者 487人

オ 水源林のつどいの開催

県、森林関係団体等で構成する「県民との協働による森林づくり実行委員会」の事務局として水源林のつどいを実施した。

開催日 令和5年8月5日(土)

場所 やどりき水源林

参加者 332人

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第24回緑の募金運営協議会

開催日 令和5年6月6日(火)

主な議案 令和5年度事業報告及び収支決算等

(イ) 第25回緑の募金運営協議会

開催日 令和6年3月1日(金)

主な議案 令和6年度緑の募金実施要領及び事業計画、収支予算等

イ 募金活動

学校募金等緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

- ・緑の募金額20,987,632円(目標20,100,000円)

緑の募金種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度
緑の羽根募金	19,130,451円	19,486,116円	13,994,432円
緑化グッズ募金	6,900,118円	7,708,099円	6,993,200円
計	26,030,569円	27,194,215円	20,987,632円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。(延べ71校)

イ 指定校緑化事業

神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む学校を指定し、学校緑化を実施した。

公立学校の部(9校)

小学校 座間市立沼間小学校ほか3校

中学校 南足柄市立南足柄中学校ほか1校

高等学校 県立舞岡高等学校ほか1校

特別支援校 県立瀬谷支援学校

私立学校の部(2校) 横浜清風高等学校ほか1校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植栽 三浦市民交流センターほか3箇所 490本

(イ) 苗木配布 三浦市初声下宮田市民交流センターほか2箇所 327本

(ウ) その他(樹木せん定等) 横須賀市北下浦市民プラザほか2箇所

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による秦野市菩提峠周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」(構成員:神奈川県、秦野市、清川村、当財団等)に支援した。

オ 森林保全活動

県民に森林づくり体験の参加者を募り、県立21世紀の森等で森林保全活動を行った。

実施日 令和5年10月22日(日)ほか1回

場 所 南足柄市内山ほか

内 容 除伐等

参加者 112人

カ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に森林や川の体験、自然観察、キャンプや林業体験などを実施し、森林づくりの関心を高めた。

実施日 令和5年7月22日（土）～23日（日）ほか日帰り1回

場 所 南足柄市広町ほか

参加者 82人

キ 企業の森林づくり体験活動事業

企業からの緑の募金協力を受け、企業が行う森林づくり活動に対し行政や関係団体の連携を図り、企画立案や事業運営の協力を行った。

企業数 [1社(まいばすけっと株式会社)]

実施日 令和5年5月12日（木）ほか2回

場 所 川崎市宮前区水沢地内(水沢特別緑地)ほか

参加者 235人

(3) 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団(6団)の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和5年9月9日（土）

場 所 県立秦野戸川公園、大倉落花生畑

内 容 表丹沢の自然観察&落花生収穫体験

参加者 63人

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和5年5月12日（金）

場 所 あつぎ市民交流センター

内 容 令和4年度活動報告等

参加者 8人

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 応募及び入賞数（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）

ポスター原画コンクール（応募点数 346点、入賞点数 30点）

標語コンクール（応募点数 350点、入賞点数 36点）

イ 表彰式

開催日 令和5年12月2日（土）

会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 令和6年用国土緑化運動・育樹運動コンクール（主催（公社）国土緑化推進機構）

ポスター原画コンクール

準特選 1人 入選 1人 計2人

(5) いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸し出しを行った。

登録団体 23団体

貸出回数 11回

(6) 協力等事業

ア (公社) 国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

(イ) 公募事業(緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

(緑の募金公募) 採択 10団体

(緑と水の森林ファンド公募) 採択 1団体

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請3校、採択3校(平塚市富士見小学校ほか2校)

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設へ緑化の推進等を支援した。

応募1団体、採択1団体(茅ヶ崎市)

III 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

(1) 第23回定時理事会

開催日 令和5年6月8日(木)

主な議案 令和4年度事業報告及び収支決算等

(2) 第24回定時理事会

開催日 令和6年3月19日(火)

主な議案 令和6年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第12回定時評議員会

開催日 令和5年6月26日(月)

主な議案 評議員、理事の選任並びに令和4年度収支決算等

3 緑の募金運営協議会

(1) 第24回緑の募金運営協議会[再掲]

(2) 第25回緑の募金運営協議会[再掲]

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成していません。

令和6年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団